

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像 「将来をみすえ、自ら学習できる子」 ○自分のよさを知り、人とつながり協働する子 ○ゆめの実現に向かって粘り強く取り組み、活力ある生活を送れる子

堺市立 福田 小学校
校長 嶺村 芳

令和8年度 重点目標: 確かな学びの創造～主体的・対話的で確かな学び～
・総合的な学力育成(1. 校内研修の充実、2. 授業改善・指導力の向上、3. 福田小学校スタンダード、4. 家庭学習習慣育成、5. GIGAタブレット活用授業の探求)
・心と体の教育の充実(1. 豊かな人権感覚を基盤とした生徒指導の充実、2. 気持ち良い学校をめざして、3. 話し合い・行動化できる道徳授業と多様性の包摂をめざす特別支援教育、4. 読書と体づくり(すもう、なわとび、かけあし)推進、5. 食育・保健指導推進)
・地域協働による「広がる教育」(1. 積極的な情報発信、2. 地域人材との協働型教育、3. 地域を知る、4. 地域協働型授業開発と地域行事参加、5. 交通安全指導とあいさつ運動の展開)

「確かな学びの現状」
・国語、算数、理科等の各種学力調査の結果を目標値との比較から分析した結果から概観すると、知識・技能や思考判断表現について課題がある。
・基本的な知識・技能や思考判断表現問題と比べ、活用問題でより課題がある。学びに向かう力を引き出し、基礎基本の反復練習ができる自信や粘り強さ、家庭とも連携した家庭学習も含めた探求学習や学習習慣への取り組みが重要である。
・学びのコンパスを基盤とした、基礎基本の確実な定着に向けた地域協働の取り組みを家庭とも連携しながら進めたい。

豊かな心・健やかな体の現状
・各種学習生活状況調査の結果を平均値等との比較から分析すると、自己効力感や学びに向かう力、規律ある態度について課題がある。
・地域教材や地域協働の基盤には恵まれているので、総合的な学力の育成や心身両面での健全育成をすすめたい。
・郷土を知り、郷土で育ち、郷土に誇りをもてる子どもの育成に努めたい。
・挨拶ができた時間や気持ちの切り替えが見られたりすることもあり、自信や自己肯定感を引き出す指導を教職員ができるよう、教職員の心のゆとりづくりや、授業づくりの時間確保が重要である。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	主担	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)	
									自己評価	学校関係者評価
確かな学び	基礎・基本の定着	読む・書く・計算する力を継続的に育成する。	朝読書(水)や図書室活動、並行読書、家庭読書等の取り組みで読書量を増やす。	「毎日読書30分以上」50%以上 「家で週3日以上読書する」55%以上	学校アンケート	年度末	磯崎			
			読書活動や自主学習、セット宿題等、家庭学習の充実で学習習慣の定着を図る。 ★自主学習ノートの活用	「毎日宿題をする」が90%以上 自主学習ノート80%以上	学校アンケート	年度末	加藤			
			学校での朝学習(月・木・金)で漢字や計算などを繰り返し行い基礎学力の向上を行う。	定着テストの知・技の正答率が 国語80%以上算数80%以上	定着テスト 学力テスト すくすくテスト	年度末	加藤			
豊かな学び	授業改善・指導力の向上	思考力・判断力・表現力を育成する。	●全学年が研究授業を行い、全教職員で参観・事後検討会をすることで、授業力改善に努める。	研究授業・授業参観	実践報告	年度末	教頭			
			自分の考えを書いたり伝えたりする場面を多く取り入れ、学習過程がわかるノートづくりに取り組む。	アンケート項目「授業ではノートに自分の考えを書く活動がある」で肯定評価75%以上	アンケート	年度末	芝池			
			学びのコンパス・堺版授業スタンダードに基づき、子どもがよく考え、わかる授業を展開する。	学校の単元テストの思・判・表の正答率が国語75%以上、算数70%以上	単元テスト等	年度末	芝池			
豊かな心・健やかな体	心の教育	学びに向かう力・人間性等	・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする活動に取り組む。 ・自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組む。 ・総合的な学習の時間や自主学習などでは、自分の興味・関心から学習の内容を自分で考える場を設定する。 ・学習したことを普段の生活で使う場面がないか考えられるようにする。	以下のアンケート項目を総合的に見て肯定評価75パーセント以上 ・分からないことや、詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる。 ・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができる。 ・自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 ・自分の興味・関心から学習の内容を自分で考えている。 ・学習したことを次の学習や実生活に結び付けたり考えたり、生かしたりすることができる。	学校アンケート	年度末	芝池			
			自尊感情や規範意識を醸成し、児童が安心できる学びの場をつくる。	あのねアンケートを用いていじめの早期発見に努める。	実践報告	毎学期	井野			
			あいさつ・もくもく清掃他(「はあともみじ」)の推進	生活目標ふりかえりアンケート各項目で肯定評価80%以上	アンケート	年度末	井野			
豊かな心・健やかな体	体力向上	心身ともに健全な子どもの育成 (生活に根ざす体力づくり・体力向上)	教科書や「未来をひらく」を効果的・計画的に活用する中で道徳教育を充実させ、児童の道徳的判断力の発達を図る。	「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」の肯定評価90%以上	学校アンケート	年度末	清水			
			人権教育・特別支援教育の充実を図り、やさしく思いやりのある子を育てる。	人権にかかわる項目で肯定評価85%以上	アンケート	年度末	辻村			
			体育大会、体育授業、体育大会でのダンス(表現運動)、福田体カアップチャレンジ(業間にすもう、かけあし、なわとび等に取り組む)を行い、年間を通じて体力づくりに取り組む。体力低下が懸念されるので、一人ひとりの児童が外遊びをする機会を設けるよう、学級で取り組みを行う。教員の体育授業力向上のための体育研修を行う。	アンケート項目「運動をすることや、体育の授業は好きですか。」で肯定評価82%以上	アンケート	年度末	村上			
地域協働	こ期待と信頼に 学校に	学校情報を積極的に発信し、地域の学校として地域の力を借りながら教育活動を進める。	学校の様子を積極的に情報を発信(ホームページ・校報・学年通信など)する。	「学校は地域に情報発信を行っている」で肯定評価90%以上	アンケート	年度末	疋田			
			児童と地域とのつながりの場をつくり、地域との連携を図る。	学校が保護者・地域との連携をとるための活動	実践報告	年度末	巻川			
			★幼小接続「東中校区幼小接続事業」★学校群・小中連携の推進	幼小中の取り組み	実践報告	年度末	中村			

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)